

#### IV 育児について

##### 1. 育児に対する意識

###### (1) 子育てに対する楽しさ・つらさ (問11)

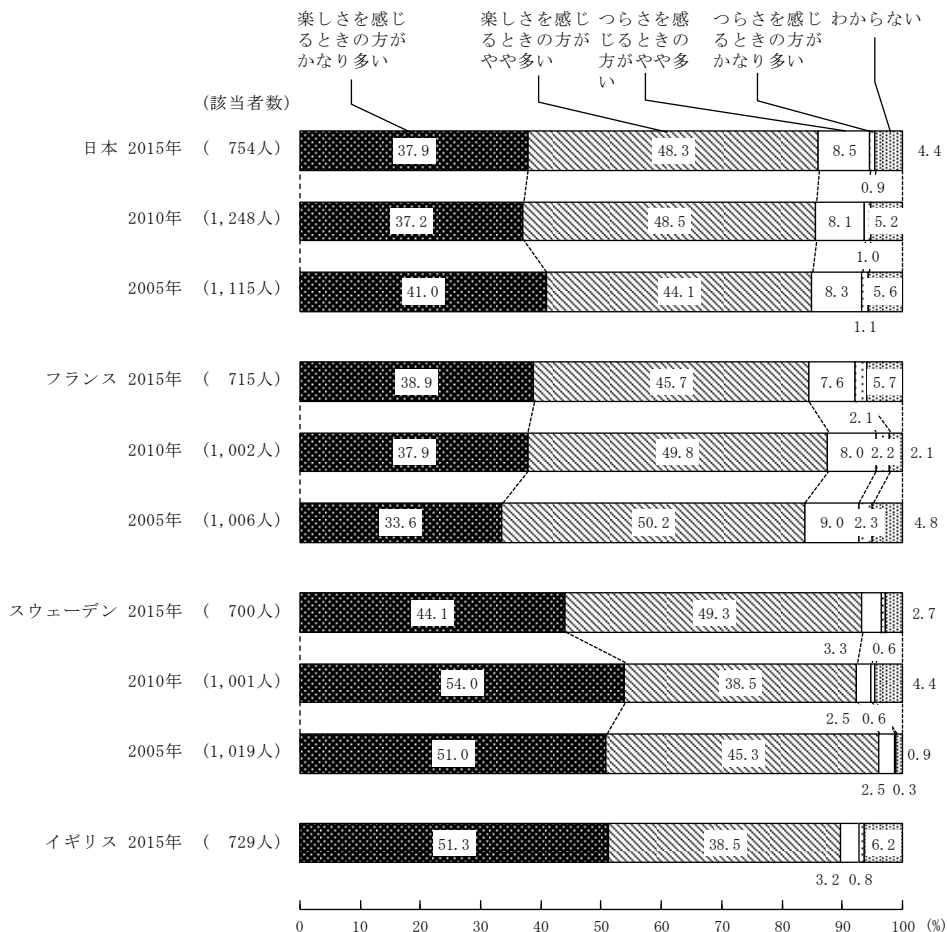
問11【カード13】あなたは、子育てに楽しさを感じるときが多いですか、それともつらさを感じるときが多いですか。この中から1つだけ選んでください。(お子さんがいない方は、仮にご自分が子育てをする場合を想定して選んでください。)

1 楽しさを感じるときの方がかなり多い                      3 つらさを感じるときの方がやや多い  
 2 楽しさを感じるときの方がやや多い                      4 つらさを感じるときの方がかなり多い  
 5 わからない

子育てに楽しさを感じるときが多いか聞いたところ、日本では、「楽しさを感じるときの方がかなり多い」(37.9%)と「楽しさを感じるときの方がやや多い」(48.3%)を合計した「楽しさを感じるときの方が多い」は86.2%と、前回(85.7%)からあまり変化はみられない。

各国の結果を比較すると、「楽しさを感じるときの方がかなり多い」はイギリスでは51.3%と、日本より13.4ポイント高い。フランスは38.9%で日本とほぼ同じである。スウェーデンは前回(54.0%)より「楽しさを感じるときの方がかなり多い」(44.1%)が減少したが、日本と比べ「楽しさを感じるときの方が多い」の割合が93.4%と高くなっている。(図IV-1)

図IV-1 子育てに対する楽しさ・つらさ



(2) 子育てをして良かったと思うこと (問12)

問12【カード14】あなたが、子育てをしていて、良かったと思うことは何ですか。当てはまるものをいくつでも選んでください。(お子さんがいない方は、仮にご自分が子育てをする場合を想定して選んでください。)(M. A.)

- |                    |                      |
|--------------------|----------------------|
| 1 家庭が明るくなる         | 6 子育てを通じて自分も精神的に成長する |
| 2 身近な人が子供と接して喜ぶ    | 7 夫婦の愛情がより深まる        |
| 3 生活にはりあいができる      | 8 その他(具体的に)          |
| 4 子育てを通じて友人が増える    | 9 良いと思うことは特にな        |
| 5 子育てを通じて自分の視野が広がる | 10 わからない             |

子育てをしていて、良かったと思うことは何か聞いたところ、日本では、「家庭が明るくなる」が72.9%と最も高く、以下、「子育てを通じて自分も精神的に成長する」(62.7%)、「生活にはりあいができる」「子育てを通じて自分の視野が広がる」(いずれも52.8%)などの順となっている。上位項目の順位は前回調査とほぼ同じである。

各国の結果を比較すると、フランス、イギリスでは、日本と同様、「家庭が明るくなる」の割合が最も高くなっている(フランス:67.3%、イギリス:73.9%)。スウェーデンでは「子育てを通じて自分も精神的に成長する」の割合が79.9%と最も高くなっている。(表IV-1)

表IV-1 子育てをして良かったと思うこと

(%)

	家庭が明るくなる	身近な人が子供と接して喜ぶ	生活にはりあいができる	子育てを通じて友人が増える	子育てを通じて自分の視野が広がる	子育てを通じて自分も精神的に成長する	夫婦の愛情がより深まる	その他	良いと思うことは特にな	わからない	回答計
日本											
2015年(754人)	72.9	25.1	52.8	30.2	52.8	62.7	27.9	0.3	0.1	3.8	328.6
2010年(1248人)	73.2	24.2	54.1	34.1	46.6	60.3	29.6	0.7	0.3	3.8	
2005年(1115人)	76.5	24.9	58.1	38.3	49.3	60.9	31.3	0.4	1.0	3.1	
フランス											
2015年(715人)	67.3	24.6	58.6	11.2	40.8	50.1	28.1	0.3	4.3	0.8	286.2
2010年(1002人)	56.6	15.2	62.4	6.1	37.6	52.9	29.4	0.6	1.2	0.8	
2005年(1006人)	63.8	22.3	62.0	5.6	33.7	45.1	32.1	0.4	2.8	1.3	
スウェーデン											
2015年(700人)	72.6	52.6	59.3	29.1	53.7	79.9	37.4	1.1	0.3	3.0	389.0
2010年(1001人)	58.7	47.8	63.1	36.6	50.7	69.1	44.5	2.8	1.6	7.0	
2005年(1019人)	71.1	60.5	74.7	46.7	65.5	85.4	55.7	0.6	0.1	0.7	
イギリス											
2015年(729人)	73.9	20.6	53.9	21.5	34.4	43.8	39.1	0.4	3.4	3.7	294.8

(3) 子育てをして負担に思うこと (問13)

問13【カード15】あなたが、子育てをしていて、自分にとって負担に思うことはどんなことですか。この中から**いくつでも**選んでください。(お子さんがいない方は、仮にご自分が子育てをする場合を想定して選んでください。)(M. A.)

- |                   |                           |
|-------------------|---------------------------|
| 1 子育てによる身体の疲れが大きい | 7 子育てが大変なことを身近な人が理解してくれない |
| 2 子育てによる精神的疲れが大きい | 8 子供が病気の時                 |
| 3 子育てに出費がかさむ      | 9 その他(具体的に)               |
| 4 自分の自由な時間が持てない   | 10 負担に思うことは特にな            |
| 5 夫婦で楽しむ時間がない     | 11 わからない                  |
| 6 仕事が十分にできない      |                           |

子育てをしていて、自分にとって負担に思うことはどんなことか聞いたところ、日本では、「子育てに出費がかさむ」が49.6%と最も高く、以下、「自分の自由な時間が持てない」(41.5%)、「子供が病気の時」(36.3%)などの順となっている。上位3項目の順位は前回調査と同様である。

各国の結果を比較すると、フランス、イギリスでは、日本と同様、「子育てに出費がかさむ」が最も高い(フランス:45.5%、イギリス:54.5%)。スウェーデンでは、「子育てによる身体の疲れが大きい」が60.4%と最も高くなっている。(表IV-2)

表IV-2 子育てをして負担に思うこと

(%)

	疲 れ 育 て に 大 き い 身 体 の	疲 れ 育 て に 大 き い 精 神 的	む 子 育 て に 出 費 が か さ む	持 自 分 の 自 由 な 時 間 が	な 夫 婦 で 楽 し む 時 間 が	い 仕 事 が 十 分 に で き な い	て を 身 育 て が 大 変 な こ と が 理 解 し て く れ な い	子 供 が 病 気 の 時 き	そ の 他	に 負 担 に 思 う こ と は 特 に	わ か ら な い	回 答 計
日本												
2015年(754人)	4	5	1	2				3				
	30.8	28.5	49.6	41.5	12.9	16.0	4.1	36.3	0.1	6.0	3.8	229.7
2010年(1248人)	5	4	1	2				3				
	26.2	28.9	47.2	41.2	13.3	17.6	3.5	35.7	-	6.4	3.6	
2005年(1115人)	5	4	1	2				3				
	23.8	29.2	46.5	42.4	12.3	15.2	4.1	36.3	0.1	11.0	3.6	
フランス												
2015年(715人)	2	3	1	5				4				
	35.9	35.2	45.5	26.2	23.6	8.5	7.7	31.6	-	15.8	2.0	232.0
2010年(1002人)	4	3	2	5				1				
	32.3	32.8	38.6	19.4	15.3	8.8	6.0	39.9	0.7	7.2	1.1	
2005年(1006人)	4	3	1	5				2				
	26.9	29.7	40.8	21.1	20.7	7.9	5.3	37.0	0.8	16.3	1.5	
スウェーデン												
2015年(700人)	1	4	3		5			2				
	60.4	36.0	41.6	27.0	27.7	24.0	12.3	44.3	1.7	6.0	2.6	283.6
2010年(1001人)	2	3	1			5		4				
	36.1	34.1	46.2	14.3	14.2	17.1	14.6	32.7	3.8	14.3	8.0	
2005年(1019人)	2	4	1			5		3				
	59.1	33.6	59.8	18.4	20.7	29.2	20.0	55.3	1.3	2.5	1.7	
イギリス												
2015年(729人)	4		1	2	5			2				
	28.3	21.0	54.5	28.8	24.8	20.9	12.9	28.8	1.1	16.7	4.5	242.2

## 2. 育児を担う者

### (1) 就学前の子供の育児における夫・妻の役割 (問14)

問14【カード16】小学校入学前の子供の育児における夫・妻の役割について、あなたの考えに近いものを1つだけ選んでください。

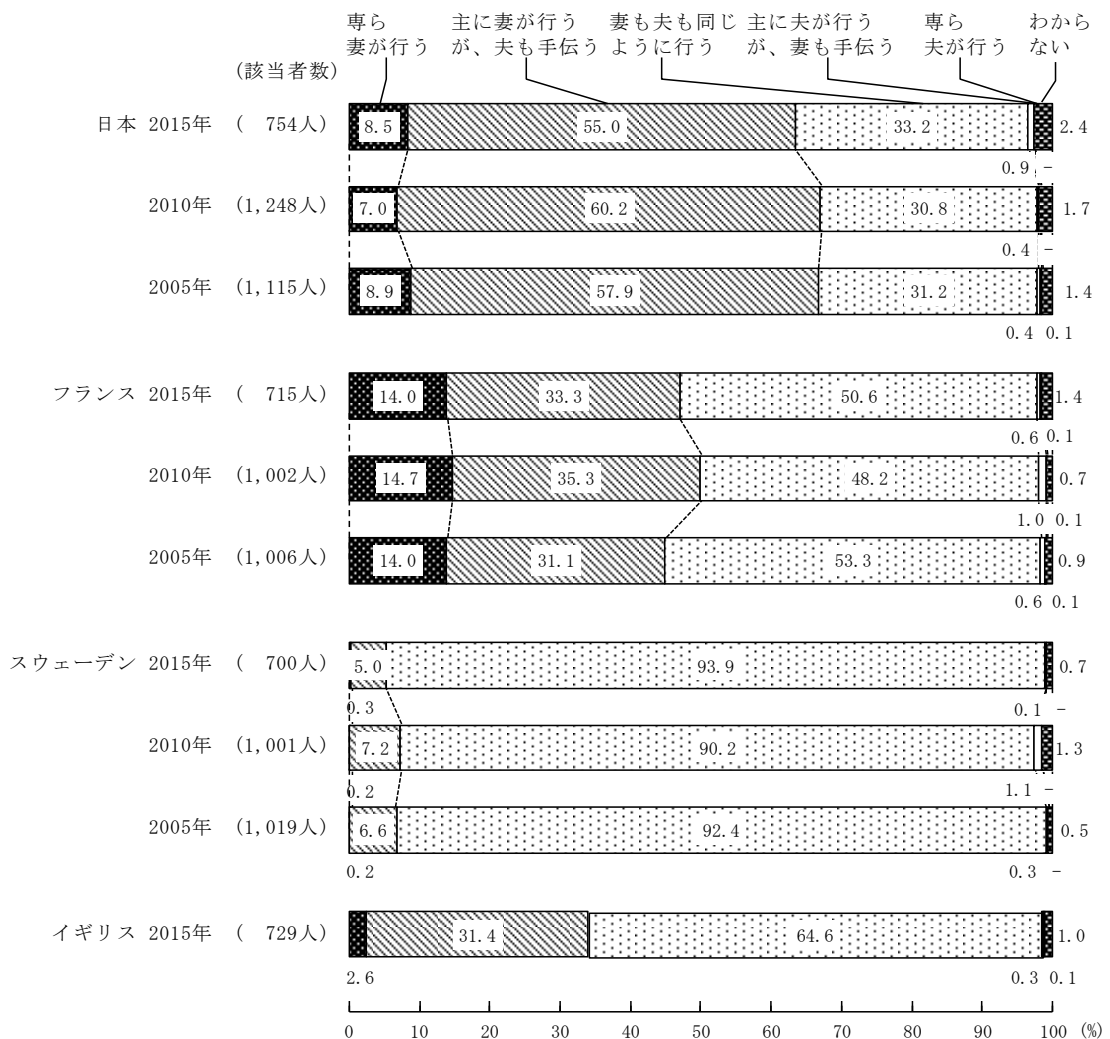
- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 1 専ら妻が行う        | 4 主に夫が行うが、妻も手伝う |
| 2 主に妻が行うが、夫も手伝う | 5 専ら夫が行う        |
| 3 妻も夫も同じように行う   | 6 わからない         |

小学校入学前の子供の育児における夫・妻の役割についての考えを聞いたところ、日本では、「主に妻が行うが、夫も手伝う」が55.0%で過半数を占める。「妻も夫も同じように行う」は33.2%と、前回(30.8%)から大きな変化はみられない。

各国の結果を比較すると、欧州各国では「妻も夫も同じように行う」の割合は5割を超えており、スウェーデンでは93.9%と特に高くなっている。前回の調査結果からは大きな変化はみられない。

(図IV-2)

図IV-2 就学前の子供の育児における夫・妻の役割



(2) 育児の中で、妻よりも夫の方が主に行ってほしいこと (問15) \*新規の質問

【子供のいる方、子育て経験のある方に】

問15【カード17】小学校入学前の育児について、あなたのご家庭の中で、夫が妻と同程度あるいは夫の方が主として行ってほしい(行ってほしかった)ことは何ですか。当てはまるものをいくつでも選んでください。(M. A.)

- |                    |                           |
|--------------------|---------------------------|
| 1 食事の世話をする         | 7 日常生活上のしつけ               |
| 2 おむつを取り換える        | 8 保育所・幼稚園(日中預けている場所)の送り迎え |
| 3 入浴させる            | 9 ベビーシッター等の手配・交渉          |
| 4 寝かしつける           | 10 その他(具体的に)              |
| 5 家の中で、話や遊び相手をする   | 11 行ってほしいことはない            |
| 6 散歩など、屋外へ遊びに連れて行く | 12 わからない                  |

子供のいる方、子育て経験のある方に、ご家庭の中で、夫が妻と同程度あるいは夫の方が主として行ってほしい(行ってほしかった)ことは何か聞いたところ、日本では、「散歩など、屋外へ遊びに連れて行く」が58.5%と最も高く、以下、「入浴させる」(56.5%)、「家の中で、話や遊び相手をする」(54.2%)などの順となっている。

各国の結果を比較すると、フランスでは、「日常生活上のしつけ」が72.8%と最も高く、以下、「家の中で、話や遊び相手をする」(70.9%)などの順となっている。スウェーデン、イギリスでは、「家の中で、話や遊び相手をする」(スウェーデン:88.8%、イギリス:81.9%)、「散歩など、屋外へ遊びに連れて行く」(スウェーデン:88.3%、イギリス:79.6%)などの順となっている。(表IV-3)

表IV-3 育児の中で、妻よりも夫の方が主に行ってほしいこと

(%)

	食事の世話をする	おむつを取り換える	入浴させる	寝かしつける	家の中で、話や遊び	散歩など、屋外へ遊びに連れて行く	日常生活上のしつけ	の送り迎え(日中預けている場所)	保育所・幼稚園等の手配・交渉	ベビーシッター等の手配・交渉	その他	行ってほしいことはない	わからない	回答計
日本			2	5	3	1	4							
2015年(448人)	16.3	21.9	56.5	27.5	54.2	58.5	35.9	19.9	1.6	0.4	4.5	2.7	299.8	
フランス	5			4	2	3	1							
2015年(426人)	58.2	54.7	57.5	64.1	70.9	70.2	72.8	54.7	31.2	0.5	1.2	1.4	537.3	
スウェーデン				5	1	2	3							
2015年(366人)	84.7	85.2	83.3	85.5	88.8	88.3	86.3	86.1	79.0	6.6	1.4	0.8	776.0	
イギリス		5		4	1	2	3							
2015年(470人)	66.2	70.9	68.7	76.8	81.9	79.6	78.9	61.3	40.9	1.1	3.0	0.4	629.6	

(3) 育児休業の取得意向 (問16) \*新規の質問

【子供のいる方、子育て経験のある方に】

問16【カード18】直近のお子さまが生まれたときのことを教えてください。

(男性に) あなたは直近の配偶者・パートナーの出産時に、1ヶ月以上の育児休業を取りたかったですか。

(女性に) あなたは直近の出産時に、あなたの配偶者・パートナーに1ヶ月以上の育児休業を取ってもらいたかったですか。

育児休業を

- |                                  |                           |
|----------------------------------|---------------------------|
| 1 取りたかった (取ってもらいたかった)            | 3 取りたくなかった (取ってもらいたくなかった) |
| 2 取る必要を感じなかった (取ってもらおう必要を感じなかった) | 4 考えていなかった                |
|                                  | 5 わからない                   |

直近のお子さまが生まれたときに、男性には、1ヶ月以上の育児休業を取りたかったか、女性には、配偶者・パートナーに1ヶ月以上の育児休業を取ってもらいたかったか聞いたところ、日本では、「考えていなかった」の割合が41.3%と最も高く、「取りたかった(取ってもらいたかった)」の割合が23.7%となっている。性別にみると、「取りたかった(取ってもらいたかった)」は男性で30.0%と女性(19.8%)より高くなっている。

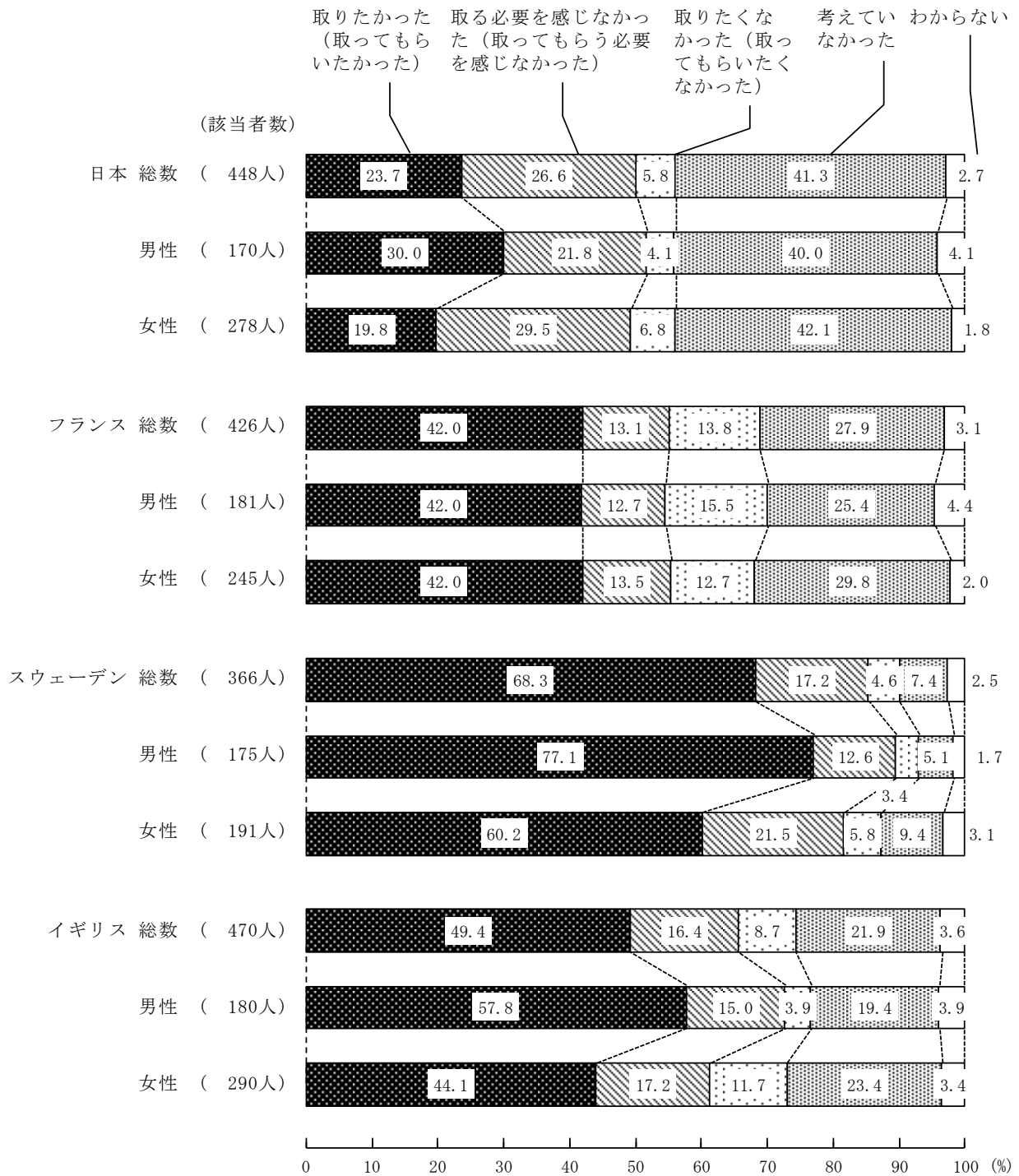
各国の結果を比較すると、欧州各国では「取りたかった(取ってもらいたかった)」の割合が最も高い。

フランスでは、「取りたかった(取ってもらいたかった)」の割合が42.0%となっている。性別にみると、あまり差はみられない。

スウェーデンでは、「取りたかった(取ってもらいたかった)」の割合が68.3%となっている。性別にみると、「取りたかった(取ってもらいたかった)」は男性で77.1%と高くなっている。

イギリスでは、「取りたかった(取ってもらいたかった)」の割合が49.4%となっている。性別にみると、「取りたかった(取ってもらいたかった)」は男性で57.8%と高くなっている。(図IV-3)

図IV-3 育児休業の取得意向



### 3. 子供の育て方

(1) 突然の用事の際に、子供の面倒を誰に頼むか (問17) \*\*変更の質問

【子供のいる方、子育て経験のある方に】

問17【カード19】突然の用事のために、子供の面倒をみることができないとき、誰に援助を頼みますか。当てはまるものをいくつでも選んでください。(M. A.)

- |                       |                        |
|-----------------------|------------------------|
| 1 配偶者 (同棲相手を含む。以下同じ)  | 7 自治体が提供する公的保育サービス     |
| 2 自分の親又は配偶者の親         | 8 民間の保育サービス (ベビーシッター等) |
| 3 自分のきょうだい又は配偶者のきょうだい | 9 勤め先にある保育施設           |
| 4 子育て仲間               | 10 その他 (具体的に )         |
| 5 近所の人                | 11 わからない               |
| 6 友人                  |                        |

突然の用事のために、子供の面倒をみることができないとき、誰に援助を頼むか聞いたところ、日本では、「自分の親又は配偶者の親」が85.7%と最も高く、以下、「配偶者 (同棲相手を含む。以下同じ)」(46.7%)などの順となっている。

各国の結果を比較すると、フランス、イギリスでは、日本と同様、「自分の親又は配偶者の親」(フランス:71.6%、イギリス:74.7%)、「配偶者 (同棲相手を含む。以下同じ)」(フランス:60.1%、イギリス:54.9%)の順となっている。スウェーデンでは、「配偶者 (同棲相手を含む。以下同じ)」(89.3%)、「自分の親又は配偶者の親」(72.7%)の順となっている。(表IV-4)

表IV-4 突然の用事の際に、子供の面倒を誰に頼むか

(%)

	含 む。 配 偶 者 以 下 同 棲 相 手 を	の自 分 の 親 又 は 配 偶 者	い は 自 配 偶 者 の き よ う だ い 又	子 育 て 仲 間	近 所 の 人	友 人	的自 治 体 が 提 供 す る 公	等 ( 等 ) 民 間 の 保 育 サ ー ビ ス	設 勤 め 先 に あ る 保 育 施	そ の 他	わ か ら な い	回 答 計
日本	2	1	3	4			5					
2015年 (448人)	46.7	85.7	15.6	6.7	4.2	6.0	6.5	6.3	0.7	1.8	0.4	180.6
フランス	2	1	4		5	3						
2015年 (426人)	60.1	71.6	28.2	11.0	13.1	35.2	8.0	9.9	1.6	0.9	1.4	241.1
スウェーデン	1	2	3			4	5					
2015年 (366人)	89.3	72.7	52.5	21.0	6.3	32.0	21.6	11.7	2.7	2.5	0.3	312.6
イギリス	2	1	4	5		3						
2015年 (470人)	54.9	74.7	30.9	8.7	5.7	34.5	3.2	7.2	0.4	1.9	0.9	223.0



(2) 育児に関する悩みがあるときに誰に相談するか（問18） \*\*変更の質問

【子供のいる方、子育て経験のある方に】

問18【カード20】 育児に関する悩みがあるときに、誰に又はどこへ相談をしますか。当てはまるものをいくつでも選んでください。(M. A.)

- |                       |                                |
|-----------------------|--------------------------------|
| 1 配偶者（同棲相手を含む。以下同じ）   | 10 学校                          |
| 2 自分の親又は配偶者の親         | 11 自治体の子育て支援センターなどの行政機関        |
| 3 自分のきょうだい又は配偶者のきょうだい | 12 ベビーシッター                     |
| 4 子育て仲間               | 13 育児や発達に関する専門機関               |
| 5 近所の人                | 14 インターネットの掲示板、ブログ、SNS、ツイッターなど |
| 6 友人                  | 15 その他（具体的に ）                  |
| 7 同僚                  | 16 そのような人（機関）はない               |
| 8 保育所、保育施設、保育ママ       | 17 わからない                       |
| 9 子育て関連のNPO           |                                |

育児に関する悩みがあるときに、誰に又はどこへ相談をするか聞いたところ、日本では、「自分の親又は配偶者の親」が68.5%と最も高く、以下、「配偶者（同棲相手を含む。以下同じ）」（62.5%）、「友人」（43.5%）などの順となっている。

各国の結果を比較すると、フランス、イギリスでは、日本と同様、「自分の親又は配偶者の親」（フランス：56.1%、イギリス：69.6%）、「配偶者（同棲相手を含む。以下同じ）」（フランス：54.7%、イギリス：56.8%）、「友人」（フランス：47.7%、イギリス：51.7%）の順となっている。スウェーデンでは、配偶者（同棲相手を含む。以下同じ）が84.4%と最も高くなっている。（表IV-5）

表IV-5 育児に関する悩みがあるときに誰に相談するか

(%)

	配偶者(同居相手を含む。以下同じ)	自分の親又は配偶者の親	自分のきょうだい又は配偶者のきょうだい	子育て仲間	近所の人	友人	同僚	育ママ 保育所、 保育施設、 保	子育て関連のNPO	学校	自治体の子育て支援センターなどの行政機関	ベビシッター
日本 2015年(448人)	26.5	16.8	52.6	43.1	4.9	43.5	13.4	10.3	0.9	6.5	4.7	0.4
フランス 2015年(426人)	54.7	56.1	26.1	17.4	7.0	47.7	13.4	7.5	3.3	8.2	2.8	3.8
スウェーデン 2015年(366人)	84.4	61.7	40.4	44.0	6.3	65.0	31.7	32.0	1.9	21.3	25.7	1.4
イギリス 2015年(470人)	56.8	69.6	24.7	17.9	5.1	51.7	7.2	7.0	1.7	16.6	5.5	1.3
	専門機関 育児や発達に関する専	ボード、インターネットの掲示、SNS、	その他	は、そのような人(機関)	わからない	回答計						
日本 2015年(448人)	4.2	5.6	2.7	1.3	0.4	286.6						
フランス 2015年(426人)	4.5	8.9	0.9	4.2	0.5	266.9						
スウェーデン 2015年(366人)	28.1	35.2	2.2	-	0.5	482.0						
イギリス 2015年(470人)	7.7	7.0	5.5	2.3	-	287.7						

(3) 子育てにかかる経済的な負担で大きなもの (問19)

【子供のいる方、子育て経験のある方に】

問19【カード21】あなたにとって、子育てにかかる経済的な負担として大きなものは何ですか。負担が大きいと思うものをいくつでも選んでください。(M. A.)

- |                                       |                   |
|---------------------------------------|-------------------|
| 1 保育にかかる費用 (保育所・幼稚園、<br>保育ママや学童保育を含む) | 7 衣服費             |
| 2 学校教育費                               | 8 住宅費             |
| 3 学習塾など学校以外の教育費                       | 9 医療費             |
| 4 学習塾以外の習い事の費用                        | 10 レジャー、レクリエーション費 |
| 5 通信費 (携帯電話の費用など)                     | 11 その他 (具体的に )    |
| 6 食費                                  | 12 特にない           |
|                                       | 13 わからない          |

子育てにかかる経済的な負担として大きなものは何か聞いたところ、日本では、「学習塾など学校以外の教育費」が49.3%と最も高く、前回(36.5%)から12.8ポイント増加している。以下、「保育にかかる費用(保育所・幼稚園、保育ママや学童保育を含む)」(40.4%)、「学校教育費」(34.6%)などの順となっている。

各国の結果を比較すると、フランスでは「衣服費」が50.5%と最も高いが、前回(60.0%)からは9.5ポイント減少している。スウェーデンでは、「学習塾以外の習い事の費用」が37.2%と最も高い。イギリスではフランスと同様、「衣服費」が55.5%と最も高くなっている。(表IV-6)

表IV-6 子育てにかかる経済的な負担で大きなもの

(%)

	マ 育 所 に か か る 費 用 ( 保 育 マ マ や 学 童 保 育 を 含 む )	学 校 教 育 費	学 習 塾 な ど 学 校 以 外 の 教 育 費	学 習 塾 以 外 の 習 い 事 の 費 用	通 信 費 ( 携 帯 電 話 の 費 用 な ど )	食 費	衣 服 費	住 宅 費	医 療 費	シ ョ ン レ ジャ ー 、 レ ク リ エ ー シ ョ ン 費	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	回 答 計
日本	2	3	1	4	5	5	15.8	10.5	13.8	12.7	-	4.2	0.7	246.7
2015年(448人)	40.4	34.6	49.3	30.1	10.3	24.1	15.8	10.5	13.8	12.7	-	4.2	0.7	246.7
2010年(747人)	2	3	1	5	5	18.5	20.5	7.0	12.7	12.3	0.1	9.8	1.2	
フランス	5	3	2	4	4	38.5	50.5	15.3	14.8	39.0	0.7	8.7	1.6	284.0
2015年(426人)	32.2	18.3	9.6	40.6	14.3	38.5	50.5	15.3	14.8	39.0	0.7	8.7	1.6	284.0
2010年(665人)	4	5	4.5	11.1	11.9	46.6	60.0	12.3	20.3	37.6	0.8	5.6	0.2	
スウェーデン	5	1	4	3	3	17.8	36.9	10.1	1.4	30.3	1.4	25.1	0.5	202.2
2015年(366人)	18.6	0.5	3.0	37.2	19.4	17.8	36.9	10.1	1.4	30.3	1.4	25.1	0.5	202.2
2010年(635人)	5	2	2	3	3	29.4	47.1	12.8	4.7	26.1	4.7	20.3	0.6	
イギリス	2	5	3	3	3	39.4	55.5	22.3	5.3	33.0	0.9	8.7	0.9	287.7
2015年(470人)	42.3	31.1	13.4	20.4	14.5	39.4	55.5	22.3	5.3	33.0	0.9	8.7	0.9	287.7

(4) 子育てに当たって利用したい制度 (問20) \*新規の質問

問20【カード22】あなたが、子育てに当たって利用したい、又は、利用しなかったと思う制度は次のうちどれですか。いくつでも選んでください。(M. A.)

- |   |   |
|---|---|
| 1 産前・産後休業制度 (通常の有給休暇とは別に、新たに生まれた子 (養子を含む) の養育を目的として一定期間仕事を休業する制度) | 6 子供の看護のための休暇制度                         |
| 2 育児休業制度  | 7 保育所 (認可外の保育所、保育園等を含む)                 |
| 3 父親休暇制度 (父親のみに対して、一定期間与えられた休暇制度)                                 | 8 保育ママ・ベビーシッター                          |
| 4 短時間勤務制度 (1日の勤務時間を所定労働時間よりも短くして働くことができる制度)                       | 9 企業が従業員のために作った託児所                      |
| 5 テレワーク・在宅勤務 (情報通信技術を活用した、場所や時間にとらわれない働き方・自宅を就業場所とする働き方)          | 10 幼稚園                                  |
|   | 11 放課後児童クラブ                             |
|   | 12 地域における子育て支援サービス (ファミリーサポート、つどいの広場など) |
|   | 13 その他 (具体的に )                          |
|   | 14 特にない                                 |
|   | 15 わからない                                |

子育てに当たって利用したい、又は、利用しなかったと思う制度を聞いたところ、日本では、「育児休業制度」が32.8%と最も高く、以下、「短時間勤務制度 (1日の勤務時間を所定労働時間よりも短くして働くことができる制度)」(29.2%)、「産前・産後休業制度 (通常の有給休暇とは別に、新たに生まれた子 (養子を含む) の養育を目的として一定期間仕事を休業する制度)」及び「父親休暇制度 (父親のみに対して、一定期間与えられた休暇制度)」(いずれも27.0%)などの順となっている。

各国の結果を比較すると、フランス、イギリスでは「産前・産後休業制度 (通常の有給休暇とは別に、新たに生まれた子 (養子を含む) の養育を目的として一定期間仕事を休業する制度)」の割合が最も高い(フランス:41.1%、イギリス:43.8%)。スウェーデンでは、「育児休業制度」が88.0%と最も高く、日本と比べて55.2ポイント高くなっている。(表IV-7)

表IV-7 子育てに当たって利用したい制度

(%)

	産前・産後休業制度（養子を含む） （養子を含む） 一定期間仕事を休業する制度的として	育児休業制度	父親休業制度（父親のみに対して、一定期間与えられた休暇制度）	短時間勤務制度（1日の勤務時間を所定労働時間よりも短くして働くことができる制度）	テレワーク・在宅勤務（情報通信技術を活用した、場所や時間にとらわれない働き方・自宅を就業場所とする働き方）	子供の看護のための休暇制度	保育所（認可以外の保育所、保育園等を含む）	保育ママ・ベビーシッター
日本	3	1	3	2			5	
2015年（448人）	27.0	32.8	27.0	29.2	9.6	21.7	24.3	4.5
フランス	1	5					4	3
2015年（426人）	41.1	29.6	22.1	24.6	10.1	24.6	30.8	31.0
スウェーデン	1	1				3	2	
2015年（366人）	56.8	88.0	60.4	51.9	38.3	73.2	78.1	15.0
イギリス	1		4	4			3	
2015年（470人）	43.8	17.7	30.0	30.0	9.4	4.3	30.6	23.8
	所企業が従業員ののために作った託児	幼稚園	放課後児童クラブ	広場など） （ファミリースポーツ、地域の子ども支援サービス	その他	特にない	わからない	回答計
日本								
2015年（448人）	10.9	15.4	13.6	12.5	-	12.5	0.9	242.0
フランス		2						
2015年（426人）	9.9	35.7	28.6	5.2	0.2	9.9	0.9	304.2
スウェーデン		5	4					
2015年（366人）	4.4	65.3	67.5	41.5	1.1	1.1	-	642.6
イギリス		2						
2015年（470人）	5.7	38.3	27.0	4.7	0.4	12.3	1.1	279.1

(5) 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方 (問21)

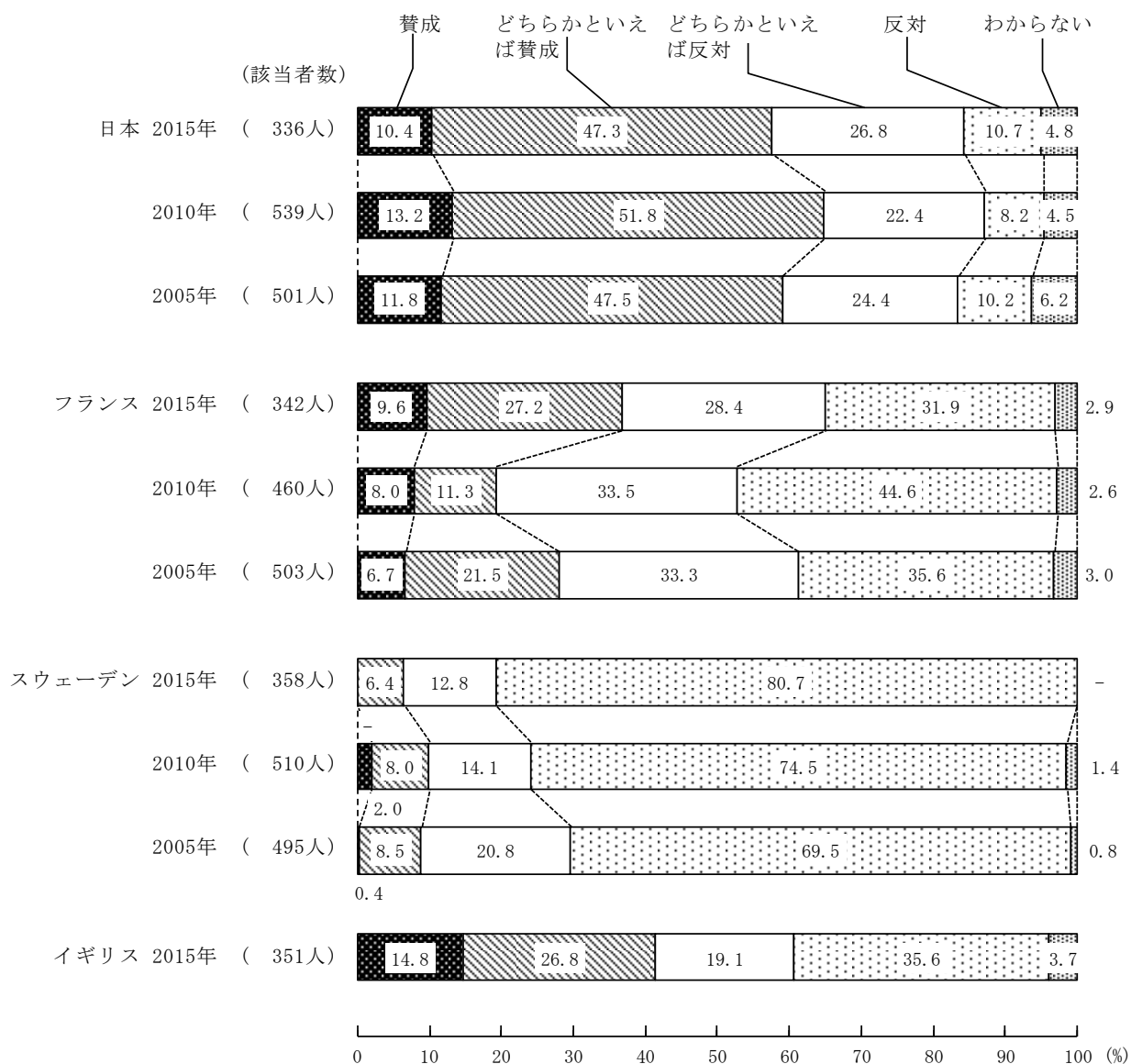
問21【カード23】「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、あなたは、どのように考えますか。当てはまるものを1つだけ選んでください。

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1 賛成         | 3 どちらかといえば反対 |
| 2 どちらかといえば賛成 | 4 反対         |
|              | 5 わからない      |

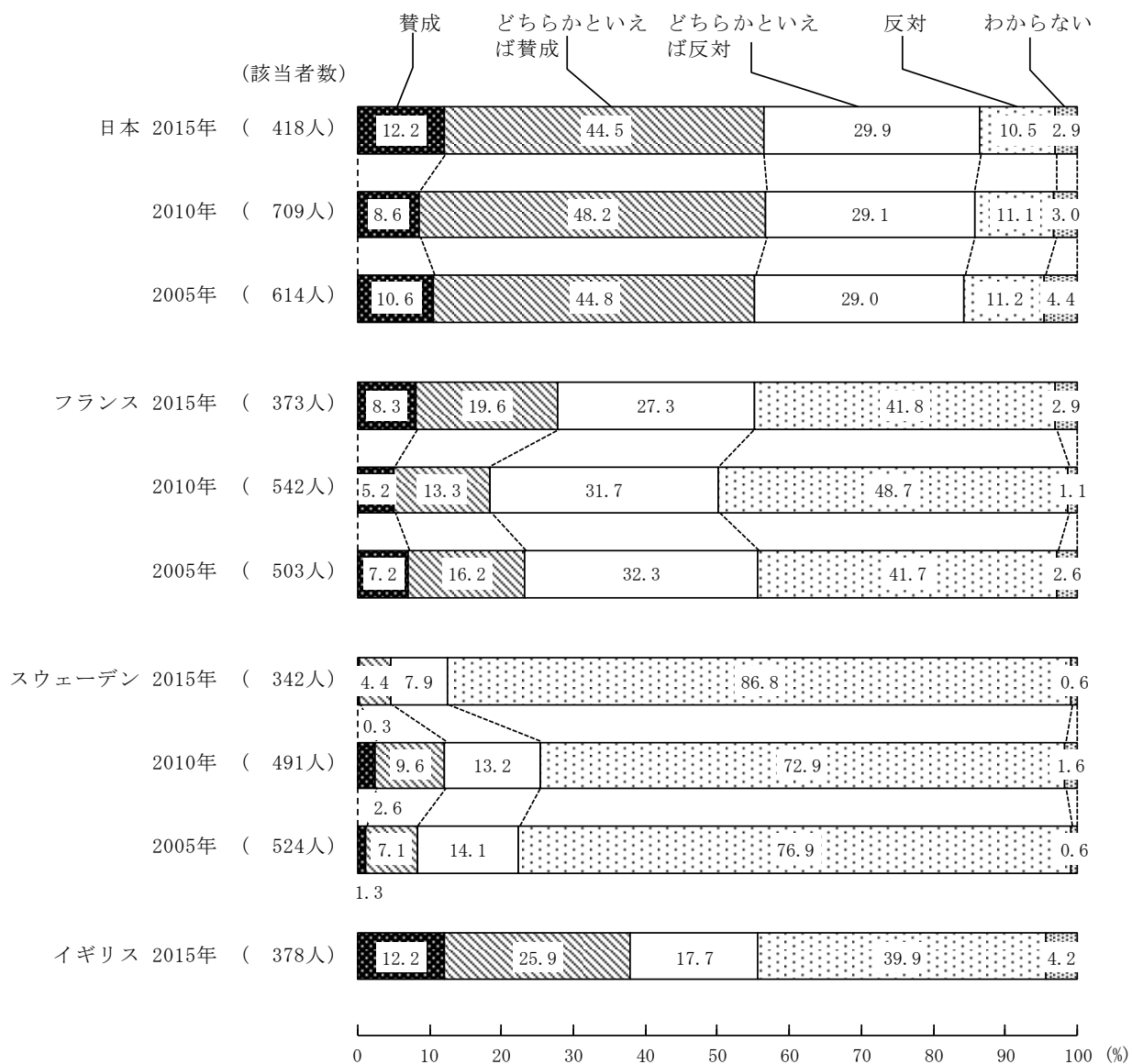
「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、どのように考えるか聞いたところ、日本では、「賛成」と「どちらかといえば賛成」の合計が、男性で57.7%、女性で56.7となっている。前回の結果と比較すると、「賛成」と「どちらかといえば賛成」の合計の割合は、男性では減少しているが、女性ではあまり変化はみられない。

各国の結果を比較すると、欧州各国では、フランスでは「反対」「どちらかといえば反対」の合計が男女（男性60.3%、女性69.2%）とも6割を超えているが、「賛成」「どちらかといえば賛成」の合計が男性で36.8%と、前回（19.3%）から17.5ポイント増加している。スウェーデンでは「反対」「どちらかといえば反対」の合計は男女（男性93.5%、女性94.7%）とも9割を超える。また男性では、前回（88.6%）から4.9ポイント増加している。イギリスでは「反対」「どちらかといえば反対」の合計は男女（男性54.7%、女性57.6%）とも5割を超えている。（図IV-4，図IV-5）

図IV-4 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方 <男性>



図IV-5 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方 <女性>





(6) 出産休暇の取得意向 (問22) \*新規の質問

問22 [カード24]

(男性に) 今後、配偶者・パートナーの出産があったら、あなたは産後8週間くらいを目途に5労働日以上の出産休暇を取りたいと思いますか。配偶者・パートナーがいない場合や、出産予定がない場合も、あると仮定してお答えください。

(女性に) 今後、あなたの出産があったら、あなたは配偶者・パートナーに産後8週間くらいを目途に5労働日以上の出産休暇を取ってもらいたいと思いますか。配偶者・パートナーがいない場合や、出産予定がない場合も、あると仮定してお答えください。

- |        |           |
|--------|-----------|
| 1 思う   | 3 あまり思わない |
| 2 やや思う | 4 思わない    |
|        | 5 わからない   |

今後、出産があったら、産後8週間くらいを目途に5労働日以上の出産休暇を、男性には自身を取りたいと思うか、女性には配偶者・パートナーにとってもらいたいと思うか聞いたところ、日本では、「思う」「やや思う」の合計の割合が58.9%となっている。性別にみると、「思う」「やや思う」の合計の割合は男性で67.5%と高くなっている。

欧州各国の結果を比較すると、「思う」はスウェーデン(87.4%)、イギリス(67.5%)、フランス(51.0%)の順に高い。

フランスでは、「思う」「やや思う」の合計の割合が74.5%となっている。性別にみると、「思う」「やや思う」の合計の割合は女性で78.6%と高くなっている。

スウェーデンでは、「思う」「やや思う」の合計の割合が94.8%となっている。性別にみると、あまり差はみられない。

イギリスでは、「思う」「やや思う」の合計の割合が84.4%となっている。性別にみると、あまり差はみられない。(図IV-6)

図IV-6 出産休暇の取得意向

